

●西濃支局 大垣市本町2-6
スタッド1602号
0584(75)1289
FAX兼用

岐阜

金属部品メーカー

加藤製作所



加藤 景司社長

同社は一八八八(明治二一年)に、初代である加藤幸次郎氏が鍛冶屋を創業したのを始まりとする。その後旋盤などを導入し、近

キラリ 地元企業

「意欲のある人求めます。男女問わず。ただし年齢制限あり…」どこでも見かけるパート募集のチラシである。しかし、中津川市の金属部品メーカー、加藤製作所が数年前に出したこのチラシには、当時百人以上が応募してきた。なぜなら年齢制限は「60歳以上」となっていたからだ。加藤景司社長は「土日の働き手として、高齢者雇用で踏み切った」と、当時を振り返る。雇用した高齢者の中には、金属加工をやった経験のない人や、女性も多い。「経験がなくとも意欲があれば、雇用後に仕事を少しずつ教えていく。当初は元氣さや人柄重視で雇用したが、仕事に対する高いやる気で、業務をマスターしていった」という。(中津川)

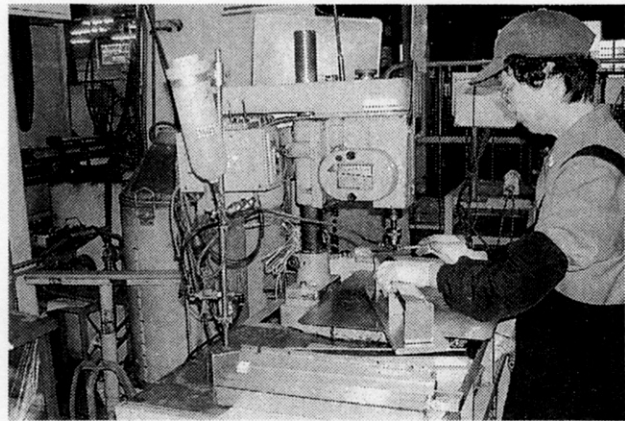
代的な金属加工工業に発展。現在では、プレス板金部一九五四年に有限会社と品加工として、量産から多して法人化、その後、株式会社品種小ロットまで幅広い受会社化し現在に至っている。注に込えている。売上高構成比は、環境関連34%、自動車部品22%、家電部品23%、ISO9001、環境の%、一般機械部品21%。パISO14001も取得ランスのとれた売り上げ構成が、特徴的だ。

同社は一八八八(明治二一年)に、初代である加藤幸次郎氏が鍛冶屋を創業したのを始まりとする。その後旋盤などを導入し、近

高齢者活用で土日稼働推進

十年、鉄や金属を取り扱う「ビニエンスファクトリー」地元の老舗部品メーカーとして存在感を示している。返上で、年末年始や盆以外は、機械が止まることのない。だが、生産性や歩留まりの向上に有効とはいえない、は九十五人で、このうちシ

コスト削減と生産性向上へ コンビニ工場実現へ



ある。年間百十日の休日もある。土日休みの人件費という大きなデメリットも付きま

女性の高齢者も主戦力として活躍する

ルバー層のパートは四十人と半数になる。かつて用いた最高齢は七十九歳現在の最高齢は七十二歳これにより、固定費の抑とラインの稼働率向上と、相反する二つの目標を実現したのだ。

高齢者雇用に関して加社長は、方針やメリットなどを明確にすることに、管理者の指導力向上社員教育の重要性を訴えている。また、ミスや労災止へ、工場レイアウトの善や、ブザー音を聞き取りやすくするなどの設備も実施した。さらに「バフリーなど環境整備の上で、より働きやすい職にしていく」という。同の取り組みは、高齢化がむ地域の雇用問題に、一の解答となるのではないだろうか。